

# THEO グロース・A I ファンド (世界の株式中心)

## 運用報告書 (全体版)

第5期 (決算日 2023年1月31日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
さて、「THEO グロース・A I ファンド (世界の株式中心)」は、2023年1月31日に第5期の決算を行いました。  
ここに作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

### 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/資産複合	
信託期間	原則として、無期限です。(設定日: 2018年5月17日)	
運用方針	「THEO グロース・A I ファンド (世界の株式中心)」は、マザーファンド受益証券へ投資を行います。以下はマザーファンドである「THEO グロース・マザーファンド (世界の株式中心)」の運用方針です。 ①主として世界の上場投資信託証券 (ETF) に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界中の企業の成長性を享受することを目指します。 ②組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。	
主要運用対象	ベビーファンド	THEO グロース・マザーファンド (世界の株式中心) 受益証券を主要な投資対象とします。
	マザーファンド	世界の株式市場に上場されている投資信託証券 (ETF) を主要な投資対象とします。
組入制限	ベビーファンド	①上場投資信託証券 (ETF) への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	①投資信託証券 (ETF) への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年1月31日 (休業日の場合は翌営業日) に決算を行い、収益分配方針に基づき収益分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。	



東京都千代田区紀尾井町1番3号

<照会先>

電話番号: 03-6629-7090

(受付時間: 委託会社の営業日の9:30~17:00)

ホームページ: <https://www.money-design.com/>

## 【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 分 込 金	騰 落	中 率		
(設定日) 2018年5月17日	円 10,000	円 —		% —	% —	百万円 1
1期(2019年1月31日)	9,306	0	△ 6.9		105.4	539
2期(2020年1月31日)	10,573	0	13.6		93.9	895
3期(2021年2月1日)	11,967	0	13.2		99.9	940
4期(2022年1月31日)	13,762	0	15.0		99.6	2,266
5期(2023年1月31日)	14,424	0	4.8		99.4	3,271

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首) 2022年1月31日	円 13,762		% —	% 99.6
2月末	13,695		△0.5	99.7
3月末	14,781		7.4	99.3
4月末	14,190		3.1	99.4
5月末	14,199		3.2	99.7
6月末	13,869		0.8	99.3
7月末	14,335		4.2	99.5
8月末	14,414		4.7	99.6
9月末	13,649		△0.8	99.4
10月末	14,823		7.7	99.5
11月末	14,623		6.3	99.3
12月末	13,817		0.4	98.9
(期 末) 2023年1月31日	14,424		4.8	99.4

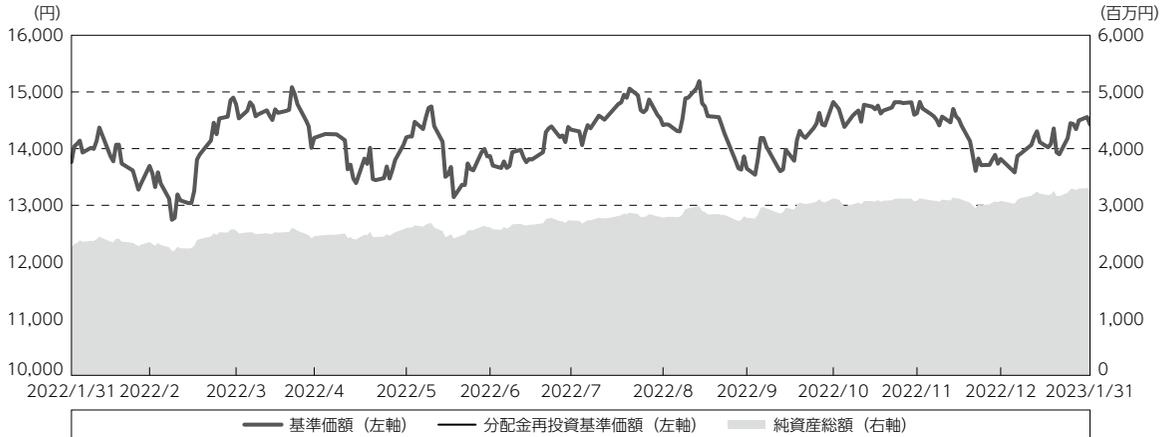
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

## ○運用経過

(2022年2月1日～2023年1月31日)

## 期中の基準価額等の推移



期 首：13,762円

期 末：14,424円(既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 4.8%(分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2022年1月31日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示していません。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、+4.8%となりました。

当ファンドは、「THEO グロース・マザーファンド(世界の株式中心)」受益証券を組み入れることにより実質的な運用を当該マザーファンドにおいて行っております。

当期は、米国や欧州の中央銀行による金融引き締めによる世界景気への不透明感が高まる中、株式市場が下落したことがマイナス要因となりましたが、当期為替相場は対円で米ドル高となったため、基準価額は上昇しました。当ファンドは為替ヘッジを行っていないため為替相場の変動についても基準価額に反映されます。

## 投資環境

世界の株式市場の指数であるMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（配当込み、米ドルベース）は-6.6%となりました。一方、米ドル円レートは+13.0%の米ドル高となりました。

期初から2022年10月中旬にかけては、米国や欧州の中央銀行による金融引き締めに対する懸念や、ロシアのウクライナ侵攻と各国による経済制裁、中国における新型コロナウイルスに対する行動規制などを嫌気して世界の株式市場は下落しました。その後、欧米の主要中央銀行が景気に配慮して利上げペースを減速させるとの見方が広がると米国、欧州、日本の株式市場は上昇に転じ、中国においてもゼロコロナ政策の見直しへの期待や不動産業界への支援策を背景に株価は上昇しました。2022年12月には世界的な景気後退による企業業績への懸念などを受けて先進国を中心に株価は反落したものの、2023年1月にはFRB（米連邦準備制度理事会）が利上げペースを緩めるとの見方や欧州の暖冬によるエネルギー不安の後退、中国のゼロコロナ政策撤廃などを受けて再び上昇に転じ、期末を迎えました。

## 当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、「THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）」受益証券への投資を通じ、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の株式へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、世界各国の企業の成長性を享受し、投資信託財産を成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準に基づいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムにより配分を変更します。当期もそのように運用を行いました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

## 分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第5期
	2022年2月1日～ 2023年1月31日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,424

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

### ○今後の運用方針

引き続き、「THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）」受益証券への投資を通じ、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界中の企業の成長を享受することを目指します。定期的に、評価基準に基づいてETFを選定し、組入比率を調整して参ります。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年2月1日～2023年1月31日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 70	% 0.495	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(51)	(0.363)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(16)	(0.110)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 3 )	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	4	0.029	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 投 資 信 託 証 券 ）	( 4 )	(0.029)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（ 投 資 信 託 証 券 ）	( 0 )	(0.001)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	21	0.147	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 7 )	(0.048)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 4 )	(0.026)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(10)	(0.073)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	95	0.672	
期中の平均基準価額は、14,179円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

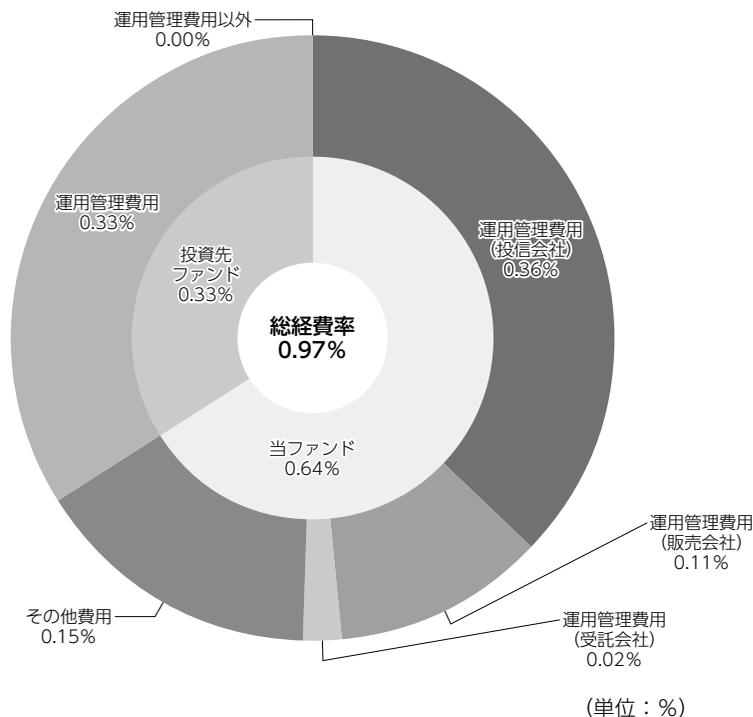
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.97%です。



総経費率(①+②+③)	0.97
①当ファンドの費用の比率	0.64
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.33
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2022年2月1日～2023年1月31日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）	794,322	1,276,077	261,118	430,518

## ○利害関係人との取引状況等

(2022年2月1日～2023年1月31日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2022年2月1日～2023年1月31日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2023年1月31日現在)

## 親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）	1,444,176	1,977,380	3,271,575

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2023年1月31日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）	3,271,575	99.3
コール・ローン等、その他	24,644	0.7
投資信託財産総額	3,296,219	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）において、当期末における外貨建純資産（4,523,942千円）の投資信託財産総額（4,563,555千円）に対する比率は99.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=130.47円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年1月31日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,296,219,118
コール・ローン等	8,993,126
THEO グロース・マザーファンド （世界の株式中心）（評価額）	3,271,575,972
未収入金	15,650,020
(B) 負債	24,643,146
未払解約金	15,944,616
未払信託報酬	7,415,841
その他未払費用	1,282,689
(C) 純資産総額（A－B）	3,271,575,972
元本	2,268,071,857
次期繰越損益金	1,003,504,115
(D) 受益権総口数	2,268,071,857口
1万口当たり基準価額（C/D）	14,424円

（注）当ファンドの期首元本額は1,646,766,310円、期中追加設定元本額は917,803,452円、期中一部解約元本額は296,497,905円です。

（注）1口当たり純資産額は1.4424円です。

## ○損益の状況（2022年2月1日～2023年1月31日）

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	141,376,090
売買益	162,642,341
売買損	△ 21,266,251
(B) 信託報酬等	△ 16,221,914
(C) 当期損益金（A＋B）	125,154,176
(D) 前期繰越損益金	194,351,479
(E) 追加信託差損益金	683,998,460
（配当等相当額）	（ 411,758,733）
（売買損益相当額）	（ 272,239,727）
(F) 計（C＋D＋E）	1,003,504,115
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金（F＋G）	1,003,504,115
追加信託差損益金	683,998,460
（配当等相当額）	（ 415,830,497）
（売買損益相当額）	（ 268,167,963）
分配準備積立金	319,505,655

（注）損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

（注）損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注）損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注）計算期間末における費用控除後の配当等収益（69,038,514円）、費用控除後の有価証券等損益額（56,115,662円）、信託約款に規定する収益調整金（683,998,460円）および分配準備積立金（194,351,479円）より分配対象収益は1,003,504,115円（1万口当たり4,424円）ですが、当期に分配した金額はありません。

## ○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	0円
----------------	----

## ○お知らせ

該当事項はございません。

# THEO グロース・マザーファンド （世界の株式中心）

## 運用報告書

第6期（決算日 2023年1月31日）  
（2022年2月1日～2023年1月31日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則として、無期限です。（設定日：2017年3月1日）
運用方針	①主として世界の投資信託証券（ETF）に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界中の企業の成長性を享受することを目指します。 ②組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。
主要運用対象	世界の株式市場に上場されている投資信託証券（ETF）を主要な投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券（ETF）への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

 お金のデザイン

## 【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		投 資 信 託 純 資 産 額	投 証 組 入 比 率
		期 騰 落	中 率		
	円		%		%
2期(2019年1月31日)	10,424	△	8.5	105.4	707
3期(2020年1月31日)	11,915		14.3	93.9	1,263
4期(2021年2月1日)	13,564		13.8	99.9	1,597
5期(2022年1月31日)	15,692		15.7	99.6	3,237
6期(2023年1月31日)	16,545		5.4	99.4	4,547

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 証 組 入 比 率	信 託 純 資 産 額
		騰 落	率		
(期首) 2022年1月31日	円		%		%
2月末	15,692		—		99.6
3月末	15,623		△0.4		99.6
4月末	16,870		7.5		99.2
5月末	16,204		3.3		99.3
6月末	16,223		3.4		99.5
7月末	15,854		1.0		99.1
8月末	16,394		4.5		99.5
9月末	16,493		5.1		99.6
10月末	15,626		△0.4		99.3
11月末	16,977		8.2		99.4
12月末	16,757		6.8		99.1
(期末) 2023年1月31日	15,843		1.0		98.6
	16,545		5.4		99.4

(注) 騰落率は期首比です。

## ○運用経過

(2022年2月1日～2023年1月31日)

### 期中の基準価額等の推移

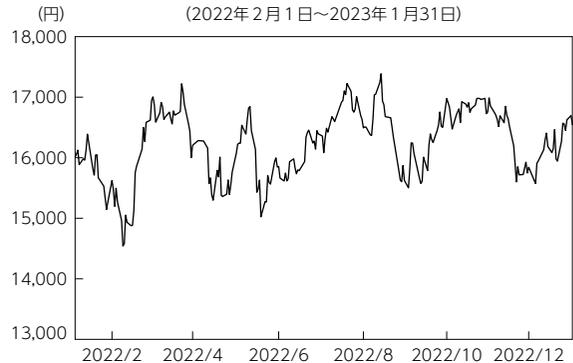
#### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、+5.4%となりました。

当期は、米国や欧州の中央銀行による金融引き締めによる世界景気への不透明感が高まる中、株式市場が下落したことがマイナス要因となりましたが、当期為替相場は対円で米ドル高となったため、基準価額は上昇しました。当ファンドは為替ヘッジを行っていないため為替相場の変動についても基準価額に反映されます。

【基準価額の推移】

(2022年2月1日～2023年1月31日)



### 投資環境

世界の株式市場の指数であるMSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、米ドルベース）は-6.6%となりました。一方、米ドル円レートは+13.0%の米ドル高となりました。

期初から2022年10月中旬にかけては、米国や欧州の中央銀行による金融引き締めに対する懸念や、ロシアのウクライナ侵攻と各国による経済制裁、中国における新型コロナウイルスに対する行動規制などを嫌気して世界の株式市場は下落しました。その後、欧米の主要中央銀行が景気に配慮して利上げペースを減速させるとの見方が広がると米国、欧州、日本の株式市場は上昇に転じ、中国においてもゼロコロナ政策の見直しへの期待や不動産業界への支援策を背景に株価は上昇しました。2022年12月には世界的な景気後退による企業業績への懸念などを受けて先進国を中心に株価は反落したものの、2023年1月にはFRB（米連邦準備制度理事会）が利上げペースを緩めるとの見方や欧州の暖冬によるエネルギー不安の後退、中国のゼロコロナ政策撤廃などを受けて再び上昇に転じ、期末を迎えました。

### 当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の株式へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、世界各国の企業の成長性を享受し、投資信託財産を成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準に基づいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムにより配分を変更します。当期もそのように運用を行いました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

## ○今後の運用方針

引き続き、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界中の企業の成長を享受することを目指します。定期的に、評価基準に基づいてETFを選定し、組入比率を調整して参ります。

## ○1万口当たりの費用明細

(2022年2月1日～2023年1月31日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 投 資 信 託 証 券 )	円 5 ( 5 )	% 0.029 (0.029)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 投 資 信 託 証 券 )	0 ( 0 )	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	8 ( 8 ) ( 0 )	0.049 (0.048) (0.001)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	13	0.079	
期中の平均基準価額は、16,213円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。



## ○組入資産の明細

(2023年1月31日現在)

## 外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		比 率	
	口 数	口 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%	
INVESCO QQQ TRUST SERIES 1	16,074	18,506	5,371	700,850	15.4	
ISHARES MSCI PACIFIC EX JAPA	—	37,059	1,735	226,427	5.0	
ISHARES MSCI MEXICO ETF	—	18,069	1,041	135,836	3.0	
ISHARES CHINA LARGE-CAP ETF	28,967	34,757	1,112	145,111	3.2	
ISHARES MSCI USA ESG SELECT	14,769	19,033	1,640	214,054	4.7	
ISHARES MSCI TAIWAN ETF	23,202	41,693	1,870	244,024	5.4	
ISHARES MSCI JAPAN ETF	38,719	43,616	2,550	332,728	7.3	
VANGUARD FTSE EMERGING MARKE	12,976	39,476	1,662	216,936	4.8	
VANGUARD FTSE EUROPE ETF	84,481	76,951	4,640	605,500	13.3	
VANGUARD MID-CAP VALUE ETF	4,744	22,532	3,213	419,325	9.2	
VANGUARD MID-CAP GROWTH ETF	10,545	14,142	2,717	354,574	7.8	
VANGUARD VALUE ETF	40,152	41,721	5,944	775,621	17.1	
WISDOMTREE INDIA EARNINGS	29,935	35,639	1,157	151,026	3.3	
合 計	口数・金額	304,564	443,194	34,659	4,522,017	
	銘柄数<比率>	11	13	—	<99.4%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

## ○投資信託財産の構成

(2023年1月31日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 4,522,017	% 99.1
コール・ローン等、その他	41,538	0.9
投資信託財産総額	4,563,555	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（4,523,942千円）の投資信託財産総額（4,563,555千円）に対する比率は99.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=130.47円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年1月31日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	4,563,555,718
コール・ローン等	41,537,795
投資信託受益証券(評価額)	4,522,017,923
(B) 負債	16,422,039
未払解約金	16,422,039
(C) 純資産総額(A-B)	4,547,133,679
元本	2,748,417,559
次期繰越損益金	1,798,716,120
(D) 受益権総口数	2,748,417,559口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,545円

(注) 当ファンドの期首元本額は2,063,386,028円、期中追加設定元本額は984,340,192円、期中一部解約元本額は299,308,661円です。

(注) 2023年1月31日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- ・THEO グロース・A I ファンド（世界の株式中心） 1,977,380,461円
- ・THEO グロース・ファンド（世界の株式中心） 762,832,468円
- ・THEOベスト・バランス・ファンド 8,204,630円

(注) 1口当たり純資産額は1.6545円です。

## ○損益の状況 (2022年2月1日～2023年1月31日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	105,941,958
受取配当金	105,901,275
受取利息	40,683
(B) 有価証券売買損益	113,080,323
売買益	507,463,343
売買損	△ 394,383,020
(C) 保管費用等	△ 1,788,098
(D) 当期損益金(A+B+C)	217,234,183
(E) 前期繰越損益金	1,174,533,947
(F) 追加信託差損益金	600,179,914
(G) 解約差損益金	△ 193,231,924
(H) 計(D+E+F+G)	1,798,716,120
次期繰越損益金(H)	1,798,716,120

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

該当事項はございません。